

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月21日(水)	試合番号	あ	回戦	1
種別	男子 女子	会場	伊弉諾八王子 ・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
HC岡山			大阪教育大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
18	6	前半	19	30	
	12	後半	11		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

梅澤 真人

中国ブロック代表のHC岡山と、近畿ブロック代表の大阪教育大学との女子オープニングマッチ。HC岡山のスローオフで試合開始。

HC岡山2番増田の強烈なロングシュートで岡山が2連取。大阪教育大学もポジションチェンジのきっかけから11番前田、9番松井のカットインで得点。HC岡山は8番国重のカットインでPTを獲得。これを冷静に決めて流れを掴むかに思われた。しかし大阪教育大学がDFを修正。6-0DFながら厳しいプレスをかける。カットインやロングシュートを封じられたHC岡山のポストパスや体勢の悪いパスをカット、速攻につなげて得点を重ねる。HC岡山GK12番板野の2度にわたるスーパーセーブで速攻での得点を防ぐも、流れは変えられず。堅守速攻を続けた大阪教育大学が19対6でリードして前半終了。

後半開始。大阪教育大学は主力を温存して臨む。前半ほど厳しくプレスをかけられない大阪教育大学DFに対し、HC岡山は8番国重のミドルシュートや2番増田のスカイプレーなどで得点を重ねる。速攻での得点がなくなった大阪教育大学であったが、センター3番千葉、ポスト10番由浅を中心としたセットオフenseで対抗する。その後は両チームのGKの好セーブもあり、一進一退の展開に。大阪教育大学は速いパス回しからのセットOFで、HC岡山はフローター陣の技ありのプレーで魅せる試合となった。

前半の点差は埋まらず、30対18で大阪教育大学の勝利。